

12月20日（金） 杵築会場2日目

【質問者1】

まず質問は2点あります。

まず1点目は、11ページですね。緊急財政対策で財政調整基金に頼らない財政構造の構築ということで、外部有識者まで雇って出してきた答えが、「14ページの3年間であと10億円減らします。」という結論を、この通りではないという説明を昨日までいただいているが、こういう絶望的な数字を出すことを、これでもいいんだと思わせるような外部有識者の会議をする。そういう会議しかできない外部有識者には失望しているので、外部有識者をもう一回入れ替えていただきたいということ。それが一つです。

もう一つは、今回の財政対策でサービスの簡素化。市民の支出の増加。杵築市の戦力である職員の給与の減額でモチベーションの低下リスク。これらを作っておきながら、大型事業について本当にきちんと精査しているのか。具体的に言いますと、ケーブルテレビ8ページは24億5,000万円位。

これって金額的に言うと図書館2軒分。図書館2軒分を使って何をするかと言ったら、聞いた話によるとケーブルテレビを光ファイバー化すると。全額を光ファイバー化するのか、これについては教えていただきたい。それと同時に、これの借金の返還が、9ページの一番下のところ、財政がこれから健全化しますよっていう令和4年度から1億3,000万円、令和5年度1億7,000万円、新たな借金の返済が始まります。光ファイバー化が、13ページの見直しの視点にある市民生活への緊急度・影響度・費用対効果、この3つをすべて間違いなく充足していて、これをしなければいけないということがきちんと理解できるような説明をお願いします。

【財政課長】

光ファイバーの方からよろしいでしょうか。現在、杵築地区の光ファイバー化を行っていますが、光ファイバー化だけではなく、ケーブルテレビの整備は杵築地区は平成14年度の合併前に行っております。それから17年が経ちまして、市の庁舎の3階に送信機器があり、これが電気機器でありますので耐用年数を迎えておりまして、これが止まると皆様のご家庭にお配りしているインターネットやテレビ配信が止まってしまう状況です。これを更新しなければならぬというのが一つの至上命令であります。それから各幹線に配線しています昔でいうブースター、アンプがありまして、増幅しながら各家庭にお配りしていますが、これの耐用年数も過ぎており、止まれば配信が止まってしまう状況であります。それによりましてこれらの機器の更新が迫っており、更新をし

なければならない。更新するにあたっては、現在の同軸ケーブル方式よりも光ファイバー方式にしたほうがよいということで事業着手したところです。本年度、大元の機械等の更新をやっている。それについては終了する予定になっており、大きなリスクは本年度で逃れる。来年度以降も大きなお金をかけて、ここに24億円と書いていますが、これにつきましては来年度以降若干事業を縮小させていただきながら、エリアを決めて更新させていただくということで、事業実施年度を延長しながら、やらせていただきたいと考えておりますので、当初の一気にやってしまう計画は考えておりません。償還につきましても借入れを抑えながら償還を抑えていきたいという考え方でございます。ケーブルテレビにつきましては以上でございます。

【副市長】

外部有識者に関してですが、今、大学の教授とか公認会計士の方とかを有識者として、財政状況の立て直しということでいろんな提言をいただいています。財政再生団体にならないために先生方のお知恵をお借りしながらやっていこうと思っておりますので、どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。

【質問者2】

ふるさと納税について質問させていただきます。先ほどの説明で納税額の半分は事務的経費というお話でしたが、昨日も同様のお話がありました。私の方からお話させていただきます。政策推進課長さんから年収の実績について昨日あった説明を言います。平成29年度はおよそ2億5,500万円で、これまでの過去最高額。平成30年度はおよそ1億6,500万円で、ちょっと下がってますね。令和元年度はすでにおよそ3億5,000万円の税収がありました。平成30年度の急落の原因は、サイトの契約切れだったから。今年度は宣伝費を拡充して、サイトの契約を見直したので、税収が増えました。来年のサイトの契約も同様のことができましたので、毎年1億円以上の税収を増やしていけるとのお話だったと記憶しております。税収を増やせるかどうかは、ふるさと納税サイトとの契約に左右されると受け止めました。これまでの議会答弁などでもサイトの契約をしていれば税収は増える、そうで無ければ減るといふ相関関係だと伺っております。一方、杵築市に昨年設立された「株式会社きつとすき」という地域商社がございます。主要業務は市からの業務委託が大半です。本年度からふるさと納税の業務を始めました。昨年度までは市が直接業務を行っておりました。

ちょっと話が変わりますが、私の会社は16年前からカメラ部品の物流業務を行っておりまして、我々のお客様は業界世界第2位になることに貢献したと

言うことで、表彰もいただいております。なので、この業務を少しわかるつもりでお話しさせていただきます。

株式会社きっとすきに支払われる事務手数料は3%と伺っています。先ほど申し上げたふるさと納税サイトの費用や返礼品の実費は入っておりません。伝票を動かして納税額の3%。例えば納税額1万円に対して300円が支払われるというわけです。シティマネージャーさんのフェイスブックに今年4月、地域商社の代表が、納税額4億5,000万円ないと赤字という発言をして、後に削除しています。3%の事務手数料に、お礼状の発送費1%が入っていることを計算することを忘れたそうです。この発言を踏まえて、こちらで独自に損益分岐点を計算しました。ハローワークに出された求人票によりますと、ふるさと納税担当者を月20万円で雇っているそうです。担当職員1名の給料と福利厚生費、それからお礼状の発送費を90円と見積もり、そうすると損益分岐点、税込9,200万円の時に人件費とお礼で経費274万円。一方で、手数料3%で約276万円で、税込9,200万円でトントンということになります。4億5,000万円で赤字どころか、9,000万円でトントンだそうです。現在の税込が3億5,000万円ですから、手数料は1,050万円以上。750万円以上の利益がきっとすきに入っている計算です。以上前置きです。

ここから質問です。今まで市の中で対応されていたと聞いてます。外に出したのには理由があるのだと思います。きっとすきに対して利益供与するためじゃないと思うんです。この理由についてご説明をお願いします。

次に、昨日も温泉の閉鎖の話題もありました。たしか270万円だと記憶してありますが、750万円あれば温泉閉める必要無いんじゃないですか。じゃあ、この温泉の赤字分どうやって捻出するか。ふるさと納税の業務を入札にしたいと思っています。今わかっている情報で弊社で計算すれば、仮に弊社で受託すれば2%でいけます。もっと下げられます。ぜひ競争入札にしてください。これまで弊社は県内・市外のたくさんの会社とお付き合いして参りました。県内の企業・団体とお付き合いがなかったのですが、今こそ微力ではありますが杵築市をお助けしたいとの思いで発言しています。

まとめますが、ふるさと納税の業務を外部委託にした理由と入札にしていた点、ご回答願います。

【政策推進課長】

色々詳しくありがとうございます。先ほど納税額のところで、昨年が1億6,000万円ぐらい。今年は倍の3億円を目標にやってきましたが、すでに3億円を超えております。最終的に3億5,000万円ぐらいが目標になると

思います。

今現在は、3億5,000万円に行っておりませんが、年度末までには行くというイメージです。それからふるさと納税の事務を地域商社に出したと言うことで、杵築市地域商社は市や金融機関とかが出資して、平成30年度当初から業務開始されています。ふるさと納税業務の職員が、政策推進課の中にいたのですが、その職員を削減して、地域商社の方に職員を回すことになりました。市役所の職員は杵築ブランドの展開とか農林水産物の展開とかやっていますので、それを市役所の職員が人事異動で変わる。変わるときに、それに適応できる人と合わない人がいるので、そういうことでは地元の事業者とうまい話ができなくて、商品展開とか首都圏に持っていくとか、そういうことが中々できにくいということで、一括してそういう流通業務を任せるために、人事異動で変わらないプロ集団に任せると言うことで、ふるさと納税の業務の一部を地域商社に任せたとのことになります。

入札のことがありましたが、その辺のことは検討させていただきますが、それでやって、政策推進課と地域商社が連携しながらやって、サイトを充実したり、サイトの会社をお願いをしたり、研修会をしたり、そういうことで少しずつ伸びが生まれて、おかげで今年3億5,000万円に行くようなことになっております。一括してやったほうが伸びていくので、事務の収入は全部市に入りますので、市と連携してやっておりますので、その辺りはご了承いただきたいと思います。入札については、検討させていただきたいと思います。以上です。

【質問者3】

3点ばかりお願いしたいと思います。

時間がないので、簡潔に申し上げます。1点は、今回の財政危機の説明会につきましては、大変有意義であったというふうに思っておりますが、これをですね経常収支比率の100.9%が100%を割るまでの間毎年1回ずつ、このような会議を市内大田・山香、それから杵築は二か所ないし三か所くらいに分けて是非説明会を継続していただくことを約束いただきたいと思います。それからもう一点は、先ほどちょっと出ましたが、福祉センターの温泉が廃止されるという噂が全市に広がりまして、非常に愛好者が不安を持っております。その内容というのが、執行部の方から説明があったのかどうか分かりませんが、噂としては、これは福祉センター周辺の人だけの利用だから、こういうようなものは廃止しても影響は少ないと、こういうような執行部の説明だったということで非常に憤りを感じております。実を言いますと、現在の福祉センターの温泉は、過去にお世話になったことがございますが、奈狩江地区、特に灘手の

方は1週間に団体で、バスでわざわざ送迎して毎回温泉に来ておりました。それから小狭間、狩宿、大内の方の草場とか北杵築・八坂、こういうようなところから現在でもたくさんの方が、お客さんが来ておりますので、これを地域周辺だけで利用されてるように思われたところに大きな問題があったんじゃないかということでもあります。それからもう一点は、料金が現在消費税含めて110円ですが、これは、どこへ行きましてもちょっと安いなど、従いまして、これはどんな方が経営しても黒字にはならないだろうというふうに思っております。現在、市内の大きな温泉は、農協が経営しておるのが一例であります。ここが値上げをされて、確か400円か450円になったと伺っておりますけど、それでも1日に300人前後のお客さんが、利用されておるようでございます。従いまして、今回、山香の風の郷も400円近所じゃなかったかと思っておりますので、温泉の料金をですね、〇〇市が最近1.7倍から2倍の値上げをするということに決定されたようでございますので、少なくとも、お客さんに痛みを分かっていたくようにご理解いただいて200円から300円程度の料金にしていただければ、この泉質のいい、一日中かけ流しの温泉が市民の皆さん方に夕刻の心身の癒しの場になるんじゃないかと思っております。辞めてしまえば、400円でも500円でも、入りたいという人が入れないわけですから、その点については、執行部の方の再考を強く促したいと思っております。それから、もう一点。もう一点につきましては、現在までに市の方が予算を執行された中でですね、噂にのっとる内容で、少し私たちは、工夫によって無駄遣いでなかったのかなというふうな感じを持ちますので、この点については、分かればその都度お返答を頂きたいと思っております。まず、第一点は、杵築中学校の建設関係、当初予算は35億円と伺っておりますが、現在は約60億円から65億円、決算額でいるそうではありますが、こんなに膨大になった理由ですね。それから上水道の新設工事ということが、浮かび上がりまして、現在の八坂の上水道を廃止して、そして下の方に新規の上水道を作るということで、設計契約までしたけど、計算をしていたら供給管あたりも老朽化しておりますので、市民に2倍以上の負担金をかけても、なおかつ赤字になるということで、辞められたそうでございますが、その点は真実なのか。辞めて現在の上水道を改修するとなると、新たに設計変更がかかると思いますが、今まで新しい上水道の設計計画の委託料が確か1億4,000万円くらいというふうに伺っておりますが、これが完全に無駄遣いじゃなかろうかと市民の方は思っていると思っております。それから、もう一点は、現在、給食センターが設置されております。これは、津波のことも考慮して1mかさ上げして、そして現在建設が進められておりますので、給食センターを作ることについては、我々はやぶさかではございませんけども、わざわざ、かさ上げだけに6,000万円もの金を使って、あの場

所に設置しなければならなかったのかと、これは極端な言い方をすると、八坂台の方でも私有地が大変安いところもあったんじゃないかなろうかというふうに思いますし、これは議会の中でも賛否両論になりまして、二転三転した結果、議長の最後のたった一票の差で、実施が決まったということを伺っておりますが、そこらあたりは、議会の方がおいでになっていたらお話を伺えれば幸いですと思います。それからもう一点は、錦江橋。現在、道路の付け替え工事が行われておりますけども、これは、橋が低いために現在の道路との接点が悪いということで、わざわざ補正で2億2,000万円の経費を予算計上いたしまして、現在、遅ればせながら実施されているようでございますけども、それだけの金を使うんだったら皆さんが橋桁が低い低いと言って、心配されておりますので、それを最初から橋桁だけを、ちょっと高くすれば、道路の付け替えも必要じゃなかったんじゃないかというふうに市民の方は思っておりますし、それから津波等が来た場合に物が引っかかる恐れがあると、そういうふうな風評被害を非常に心配しているということで、最近そういう話を伺っております。従いまして、そういうふうな事業に対してですね、ざっと計算しましても34億円くらいのお金が、工夫によっては使わないで済むんじゃないかかというふうに思っておりますので、内容のご答弁と責任の所在を明らかにしていただきたいと思っております。その3点についてお願いをいたします。よろしく申し上げます。

【財政課長】

まず、1点目の財政健全化になるまでの市民説明会の開催をということで、これは、この場でお約束をいたします。健全化までの間の市民説明会は、必ず開催して参りたいと思っております。よろしくお願いいいたします。それから温泉センターの件でございます。これは新聞報道以来、市民の皆様からも、お叱りを受けながら非常に良案も頂きながらということでございますので、各会場でも同様のご意見を頂いております。十分に持ち帰って、年明けに再度説明をする際には、ご提示ができる状態にして参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。

それから杵築中学校でございます。その他、詳しい数字を申し上げられないかもしれませんが、ご容赦ください。杵築中学校につきましては、本体が14億9,000万円でございます。それから電気機械等が約5億ありますので、約20億円ということになっております。それから体育館棟は約11億ということになっております。また更新費の中には、旧校舎の撤去とか、校舎の解体、体育館の解体等でございます。純粹に工事請負費といたしまして、38億円というふうになっております。この間、平成22年度から令和2年度まで、来年までリースが続くんですが、仮設校舎、武道場等のリースで約7億円という

数字が出ております。その他、設計委託料で3億4,000万円、それから新たな土地の購入で4億5,000万円、それから商業地でございましたので、補償等で5億3,000万円というような数字になっております。約60億円という事業費でございます。ここにつきましては、場所でございます。それから文化財の関係ということで、非常に大きな事業費となってしまったという状況でございます。それから水道の浄水場でございます。当初、新浄水場を42億円の予定で検討をしておりました。それをそのまま実施しますと、水道の利用料金に跳ね返り、非常に水道料金が高くなるということで、いったん、検討するということで、それまでに確かに新浄水場の設計、用地購入等で金額を使っております。おっしゃる通り、当初からの見込みが甘いということでありましたが、それ故に新浄水場に突き進んで、大きな利用料を頂くのが良いとは思いませんので、いったん、再検討ということにさせていただいております。それから給食センターのかさ上げでございますが、あの地域に大きく市有地があったということも一つ理由がございましたが、より安全にということで地面のかさ上げをさせていただいたところでございます。それから錦江橋につきましては、数字はおっしゃる通りでございます。取付道路が2億2,000万円ということで間違いございません。橋桁の高さでございますが、橋桁の高さの基準にあった高さにしたということで、建設課の方から説明を受けておりますが、橋を高くすることによって、橋自体の事業費がどれくらいかと、今数字を持っておりませんので、比較ができませんので大変申し訳ありませんが、その比較の答弁はご容赦いただきたいと思います。新しい橋の橋桁のSPANは、古いものよりも大きいので、古いものを撤去する予定でございますので、漂流物の引っかかり等は、撤去後は現在よりリスクは少なくなると考えております。以上でございます。

【質問者4】

3点ほど質問させていただきます。2ページの上の欄と下の欄、平成30年度が100.9と書かれてます。これちょっと市長に聞きたいんですけど、市長は杵築市長になったのは何年でしたかね。

【市長】

平成25年の10月終わりです。

【質問者4】

平成26年度からは市長でいたということですね。こういう状態が起きるといふ予測を市長はいつ知ったんですか。

【市長】

これは、財政実質収支のところ、基準財政需要の関係で私の方が、一番先に平成26年に経常収支比率がこのままいくと危ないということは存じておりました。ただ、経常収支比率が次の年度の平成27年度が90.7でしたか、また改善したり、それからあともう一つは、第3次行財政改革というのがあるんですけども、経常収支比率の悪化とそれからそのために行財政改革というのをいっしょにセットでやるわけです。財源が枯渇しないようにということで、そういう形でセットでするんですけど、行財政改革は何十項目もあるんですけど、それについては実施してたんですけども、繰り返しお話をしているように、その効果の検証がまずいところがあったということで、申し開きができない、そういうふうには思っております。

【質問者4】

ありがとうございます。それとですね、立派な文章を作ってですね、数字も重ねて、分かりやすいか分かりにくいかわかりませんが、何が言いたいのかという言い訳の文章、数字、皆さん危険予知が足らなかった。市長は平成26年度から分かった。こうなるのが。それともう一つ。この文章を見て、誰が責任をもってやっていくのか、それとちょっと言いづらいんだけど、これを黒字に持っていくまでには、いつ・だれが・どこで・何を・どのようにするのか、過去を振り返って要因分析、原因を明確にして、対策・立案してほしいと、今後の取り組みも同じです。こういう方法であれば明確に出ると思います。こんな文章じゃなくて。だから、それともう一つね。総務課、課長にちょっと聞きたい。縦割り行政というのは3年か、長くて4年でとつとつと交替するから、答えづらいところがあるのかもしれないけど、何をチェック、フォロー、アクションをしたのか、杵築市の総務課として、それが仕事の任務じゃないんですか。それが一つもない、担当も何もない、なるようになる。親方日の丸企業、そうでしょう、どんどん変わるから。次に言っておけばいい。ちょっと言い過ぎたかも分からないが、しかし、今から全市民と皆さんと協力してやっていかないかんでしょ。皆さんも、やっぱり言いたいことを聞いてあげて、何を言っているのかなど陰で言わないように。よく聞こえるよ。だれが言ってるか言おうか。市が業者選択するとき3業者以上で入札させるでしょ。ときどき、それも不明瞭な声が聞こえます。大体、これだけ言ったら分かると思う。もうちょっと厳しいチェック・アクションをとってほしいと思います。答えを言った部分もあるけど、ごめんなさいね、後回答をお願いします。

【総務課長】

この度は大変申し訳ございません。総務課の方でどのようなチェックをしてきたかということでもあります。まず人事の異動と捉えておりますが、おっしゃるように、人事につきましては早い人では一年、遅くても6年とか、長い人もおりますけど、3年程度で異動しております。おっしゃいますように、その事業を担当した人が1年や2年で変わっていくと引継ぎがうまくいかずに、この事業がもし有効でないものがあつたとしても、ちゃんと引継ぎが出来ていないとその事業がそのまま残るとかいうのがあつたと思います。そういった面では、総務課としては今後人事異動については、きちんと考えて適正な配置に努めたいと考えております。なおかつ、また総務課におきましては行政改革の推進の事務局でございます。先ほど市長からも説明がありましたように、ちゃんとした事業をしているのかチェックをするところでもございますが、チェックが甘くて、きちんと職員に伝わっていなかったと今反省をしておりますので、今後機構改革の中で、行財政改革対策室、行財政の対策する室をしっかりと設ける中で、チェック機能を果たして今後しっかりやっていきたいと思っております。ご迷惑をかけます。

【質問者5】

質問はちょっと増えるかもしれないですけど、3点から4点くらい質問させていただきたいと思っております。

まず、1点。ホームページですけれども杵築市の給料等定数管理等についてというホームページの中に資料があると思っておりますけれども、それが平成29年度のものしかまだ発行されていません。平成30年度は宇佐・日出・国東・豊後高田、全部出ています。近隣。しかも宇佐・日出と国東は今年の4月末に出てます。杵築の結果はまだ出てません。前回の平成29年度のもの、平成30年12月10日に出てます。もう1年以上過ぎてるのにまだ出てないのはなぜでしょう。というのが1点質問です。もう一つ、給料の話の後で皆さんされると思いますが、破綻しないようにされると思いますが、破綻したときに私たちの生活も苦しくなりますけれども、皆さんのというか、一般職員の方の給料なども大変苦しくなると思っております。実際に同じような資料が、夕張の資料としてあります。これ、ご存知かどうかというのも、後で回答いただきたいのですが、破綻する前年ですけれども職員数は夕張で平成17年度270名おられました。そして一人当たりの給料が多分、年間まるまる一人当たりで632万4,000円でした。市長がこの時に月給で80万円以上もらってた。破綻した翌年、平成19年ですね、職員数が140名。270名から140名に減っています。給料ですが367万8,000円です。632万円から367万円に減

ってます。そして市長の給料が約25万円～26万円下がっています。ですから、もしも破綻した場合は、私たちの生活もそうですが、市の職員さんや市長さんも多大な被害というか、給与面というか、生活の面で苦しい思いをするので、もうちょっと真剣に考えていただきたいなと思います。あと資料の中のほうですけども、残業代をカットすると、3,000万円カットするっていうのは、恐らくですけども今の残業代の50%くらいだと思いますけども、これを原則、ゼロにするっていうことを約束は難しいかもしれませんが、限りなく原則ゼロにするっていう方向で持って行っていただけないでしょうか。一般職員の方も給料が一律例えば10%、今後10%だとか、5%とか下がるかもしれませんが、働いた分の金額が下がるよりは、残業、働かなかった分が減るのは当たり前ですから、残業代をできるだけゼロにして給料の削減をできるだけ後回しにするような体制づくりというのも考えていただきたいなというのがあります。あともう一つ。最後にしますけども、令和2年度の実績に基づいて、令和3年度の取り組みをされるというお話でしたけども、ジェイデバイスの杵築工場が閉鎖されるのが、令和3年3月ですから、その影響の試算というのを、まずされているのか。杵築に住まわれているジェイデバイスの人が190名おられると聞いています。実際に住民登録されているのが150名の方だということらしいですけども、法人税とか住民税とかっていうのが減少します。その影響は令和3年度から始まりますから、それについての影響もどのようにお考えかというのも教えていただきたいと思います。以上です。

【総務課長】

ホームページの件は、しっかり確認したいと思います。杵築市の職員の給与情報は、本年におきましては市報の方には今年度の分として掲載させていただいておりますけども、ホームページはチェック漏れであります。大変申し訳ございません。きちんとしていきたいと思います。2番目としまして、夕張市の状況、市長さんをはじめ職員の皆さんが、給料が下がって行って、どうなってるかって言うのを私もインターネット上の情報等で確認をしました。とても大変な状況で、冬はストーブをたかずにとか、もちろん給料もそうでありますけども、だんだん若い人が辞めていったりとか、人が減って行って、給料がなくなって生活が立ち行かなくなったというのが、インターネット上で確認しているところであります。なので、そうならないように職員のモチベーションが下がらないように、いろんな事業を見直したり、給与は最後に手を付けるといったお話だったと思います。自分たちでできること、例えば先ほどありました残業代ゼロ、私共も目指しているところがございます。ここに出ている3,000万円は、30%でありますので、もっともっと率を上げて、ゼロに近づける

ように働き方を変えて、日中にきちんときりをつけていく、残らないですむ体制を機構改革の中で、32課を25課にしたりしております。課内にたくさん係がありますので、忙しい時には応援体制を組む、困っているときは助け合う。こんな形もしながら、小さいところからやって残らないで済む、残業しなくて済むというような働き方の改革をいろんなことを考えてゼロにしたいと考えております。大変申し訳ありません。頑張ります。

【財政課長】

財政収支の中ではジェイデバイスの税の減額分というのは、考慮をしております。金額につきましては、法人とはいえ個人情報でございますので、ご容赦願いたいと思います。この収支の中では、減額分を考慮した収支としております。

【質問者6】

私は皆さんのように数字は持っていませんので、感情的な話になりますが、少なくとも夕張市の二の舞にはならないようにお願いしたい。また、それに伴って市民にはね、負担を掛けないようにお願いします。その上で、このようになった責任を明確にしてもらえませんか。市長はトップですから当然責任はあります。それでも責任があるのは私は財政課長だと思います。それと市議会議員の方々、全員とはいいませんが、今まで何をしていたんですか。市議会議員の方々ですよ。今日何人か来られてるみたいですけど。仕事をしてましたって言えますか、これで。いい加減にしてもらいたい。その上で、以前から言われてますけど、議員数の削減を提案いたします。今日明日すぐってわけにはいきませんが、議員の方もおられるみたいですから、是非とも議員数の削減をお願いしたいと思います。以上です。

【財政課長】

毎年度の予算編成を束ねるのが私の仕事でございます。職員の中で一番責任があるのは、私だと思っております。大変申し訳ございません。今回、財政対策を成し遂げて皆さんにお示しができるようにしていくのが、今後の私の責任だと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。申し訳ございません。

【市長】

今、ご指摘を頂きましたように、全責任が私にあります。こういう状況に陥ったというのは、本当に慙愧に堪えませんし、万死に値するんだというふうに

思います。ただ、今日皆さん方からご意見いただいておりますように財政再生団体には絶対にならないという不退転の決意で望みたい。そして市民の皆様方の影響を最小限に食い止めるということで頑張りたいと思います。申し訳ありませんでした。

【質問者 7】

今日、伝えたかったのは、格差っていうものがすごくある中で、この様々な人件費の削減と大型事業の見直し等、取り組んでいかれると思うんですけど、底辺のところにある市民の生活って言うところで、市民の声、例えば障がい者の年金をもらいながらの方とかは、二月で6万円、月3万円とか、そういうような生活、本当に底辺の生活をされている人たちの声とかも、こういう機会だとなかなか発言しにくいですが、何かこういう状況になる前に、市のより良くしていくための市民も参加できる、意見を伝え合うことのできる機会っていうのを計画の段階から、年一回の報告っていうところだけでない話す機会って言うのを持つことをお願いしたいと思います。市民の中には、本当にいろんな知恵や経験や、底辺からの声っていうことを町づくりにすごく関心をもっておられる、経験や力はあると思いますので、行政の方だけでなく有識者の方も、大学の方とか、会計の方とか、もちろん専門の方も必要かもしれませんが、普通の一般の市民の声を計画の段階から伝えられる機会を是非持っていただきたいと思います。お願いします。

【市長】

(質問者7)さんには、いかに地域で、子どもさん方、うまくコミュニケーションがとりにくい方々のために自宅でいろんなことをしていただいているということで、本当に尊敬するところです。私も障がい福祉の方に長くいたこともあります。声を出そうにも出せない、どう出しているのか分からない。そして、自分が今ひどい状況になっていることさえ気が付かないっていう人たちも当然いらっしゃるんで、各課長、今度25課に集約をいたします。それで、子育てであるとか、福祉の場合ですと障がいとか子育てであるとか、福祉一本に福祉事務所という形で対応しますので、職員が申請を待つんじゃなく、出かけて行って困っていることに気づいてもらうとか、制度があることを分かりやすく、市報に載せたからいいのではなくて伝わったかどうかの方がポイントです。市の職員が出かけて行って、こういう財政状況も含めて市民の皆様方の声を聞くように、一生懸命頑張りたいと思います。ありがとうございました。

【質問者 8】

すいません、静かにしところと思ったんですが、3つほど言わせていただきたいと思います。先ほど、人件費の見直しは、下げることで市の職員さんのモチベーションが下がるというふうなことをちらっと言われている方がいらっしやいましたが、私が調べたところ、平成29年でですね、一般行政職の方の給料、643万9,000円、全国で279位だそうです。杵築市。全職種にあわせると420位だそうです。自治体が1788のうち279位。かなり高給だと思います。大分県内でも19市町村ある中で、11位の給料を頂いているそうです。まだまだ、倒産寸前の企業の職員さんだったら、もっともっと下がるんじゃないですか。私も仕事をしておりますが、業績が悪い年はボーナスも下がります。よければ上がります。それが仕事というもんじゃないかと思っております。その辺のところをもっと、聞くところによると市長さん30%、20%教育長さんと副市長、その他、一般職が5%で、ネットの方の新聞報道で、なんか書いているのに、3か月間というようなところがあったんですが、これは経済が良くなる令和5年までずっと続いていくものだと私は思っております。いかがでしょうか。それと、もう一つは杵築市の職員さんの中で、いつか議員さんの会報の中にありましたが、市外にお住まいの方が、随分いらっしやると聞いております。近隣市町村、それはいいんですが杵築市の市民が痛みを伴って、恐らくこの後市民税とかが上るんだろうと思います。ケーブルテレビ代も上がると思います。じゃ市外に住まわれている方が、ふるさと納税で杵築市に納税しようと思っていらっしゃる方が何人いらっしゃるか、そういうところを私は見ていきたいなと思っておりますが、皆さん今日お見えの方たちも、もっと目を皿のようにしてですね、見て頂けたらいいんじゃないかと思えます。それと、あと一個、最後ですが、杵築市はこれからどうやって収入を増やすんですか。今お集りの方々も高齢の方とか、生産年齢の方は、どんどん減っていきます。これからあと5年経つと団塊の世代が、高齢者になって収入どころか自分の生活がやっとの時期になります。私たちもあと5年もすれば仕事がなくなりますから、納税することが少なくなると思います。その中で企業が無い、漁業も魚は獲れない。お米もうまくいかない、みかんもうまくいかない、何をして杵築市は税収を上げるんですか。そこをもっとももっとも考えていいんじゃないかと思っております。いかがでしょうか。

【総務課長】

職員の給料ですね。確かに1月から3月平均5%であります。課長については、9%10%であります。平均押しなべて5%ちょっとでございます。1月から3月と申し上げましたのは、現行の形でありまして、今後、組合との話

し等がありますけど、続けていくという執行部の方針は今持っているところでございます。それから、市外の在住者、昨日もありましたが、職員の中には家庭の事情等で、市外に住んでいる者もおります。その職員につきましては、先ほどふるさと納税というシステムが確かにございます。ふるさと納税のシステムを利用して杵築市に貢献してほしいということを常々から言っておりますし、今年度につきましてもお願いをしているところでございます。実数はまだつかんでおりませんが、今年度もこういう状態でありますので、職員を信じてふるさと納税をするものと考えております。以上であります。

【副市長】

市民税のことでございますが、これは地方税法で決められて、上がらないということになっております。現行のままで。地方税法が変われば変わりますが、地方税法の中で変わらなければ変わらないということでございます。

【質問者10】

会場の設営ですとか、資料の準備など4日間ありがとうございます。昨日まで参加していませんので、重複したら申し訳ありません。まず主婦として気になりますのは、来年度からケーブルテレビの料金ですとか、いろいろ上がってくるかと思えます。一世帯当たりどれくらい上がってくるかなどが少しでも分かっていたら教えていただきたいと思えます。もう一点、14ページなんですけど、財政収支試算、対策後の表を作っていました。令和4年度までなんですけど、それでも毎年3億円前後くらい財政調整基金から使われているかと思えます。マイナスになっていってます。これ、令和5年度以降は財源の不足額が減るような見通しなんでしょうか。それともまだ出されていんでしょうか。これ、同じような状況なのであれば、財政調整基金が令和7年度ですとか、令和8年度には枯渇するのかなあと思っていますけど、どのような状況か教えていただければと思います。

【財政課長】

ケーブルテレビ利用料全体で3,000万円というお願いをしております。私昨日この会場で具体的な金額を申し上げたんですが、全く決定をしているわけではございません。この3,000万円の根拠だけ申し上げます。決定ではございませんので。算出の根拠だけは、今基本料が800円に消費税で880円を頂いております。それを月300円上げさせて頂ければ、この3,000万円に近付くという計算をさせていただいております。それから14ページの表の件でございます。これをやってもまだ財政調整基金を取り崩すじゃないか

というご指摘だと受け止めました。この財源不足額の算出は、当初予算ベースで算出をしております。当初予算というのは当年度の補正等に猶予財源をもつこと、あるいは各年度必ず決算額として保留予算、執行がなされない予算というのが出てまいります。それらを加味したとき各年度の決算ベースでは、この不足額が限りなくゼロになるという、この予算額を実現できれば決算ベースでは、この不足額は限りなくゼロになるというところで作成をさせていただいております。すべてがうまくいけば、令和元年度末の残高がそのまま残ると、そういう方向にもっていきたいと考えております。以上です。

【質問者 1 1】

後出しでちょっと悪いんですけど、そこの温泉施設の件なんですけどね、254万円ですか。赤字が出るの。年間4万6,000人くらい利用してるんですよね。一つこうやったらどうですかね。普通温泉施設、そこの憩いが大体400円程度ですよ、風の郷も。まあ、値段をですね、今110円ですけど、170円くらいに上げてですね、細かいですけど150円程度にですね、さっき言っておられた方は、400円ではちょっと高すぎますよね。公共施設としては。夏場の時間帯と、冬場の時間帯をですね、よく考えてですね。夏は温泉に入る人は非常に少ないと思うんですよ。それで夏場はですね、15時～21時と。冬場は13時～21時までですとかいう、そういう具合にすればですね、人件費はかなり違ってくると思います。温泉をなくすということはですね、反対なんですよね。また、温泉を新たに作るようになったら何億円とかかるんですよ。今の温泉を維持していくということが大切だと思うんですよ。健康のためにですね、是非これは実現したいと思います。お願いします。

【財政課長】

温泉の件は各会場で、ご指摘を頂いております。今、開館時間という非常に有意義なご指摘も頂きました。持ち帰りまして十分検討して赤字がなくなれば、結構でございますので、その方向で検討させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【質問者 1 2】

いろいろ数字の件とか、市債のことは、分かってまいりましたけども、やはりこういう大きな問題を起こしたのは、市長も責任があると思いますけれど、その周りを固めていらっしゃる職員の皆さんにも女房役として責任があったのではないのでしょうか。私は思います。私事で恐縮ですけど、私が家の財布を握っております。ときどき、いろんな品物を買ったりして、お金がオーバー

して使いすぎることがありますけれど、主人に通帳を見せて、チェックをしていただいております。こういう大きな借金ができるのも、市長さん強いことを言って、部下に聞く耳を持たなかったんですか。それとも職員の方が甘かったんですか。こういうことになる前に女房役として皆さん方の力があれば、こういうような市長さんも何回も何回も頭を下げるのがおかしいぞって言われるようなヤジをとばされるようなことにならなかったと私は思います。何故、ここまで大きな借金ができることを誰も見て見ぬふりをしていたとしか、私は考えられません。時間もなりましたけれど、健康福祉センターにあるお風呂の件でございます。私の地区にもいろいろな家庭がありまして、家庭の事情からお風呂を修理したいけど修理するお金がないから、しばらくの間、110円で入られるお風呂に入ろうという、そういう家庭もあります。また、楽しみで皆さんとの会話を楽しみながら、温泉に来る方もいらっしゃいます。どうぞ、これからやりますやります、頑張ります頑張ります、ただその言葉だけじゃなくて、皆さん本当に杵築市を思うんだったら一生懸命裸になったつもりで頑張ってください。私たちもいろんなしわ寄せが来ます。市長は、皆さんにはなるべく迷惑はかけないということは何回も聞きました。でも実質的には皆さんに迷惑をかけることになったんでしょ。だから、私たちも一市民として、夕張みたくにならないように一生懸命に頑張りますけども、市長をはじめ職員の皆さん、市議会の皆さん、一日でも早い復興を願って頑張ってくれることをここでもう一度市長、言葉をください。お願いします。

【市長】

(質問者12)さんの言葉、肝に銘じて、やはり私も反省することは大変たくさんございます。いずれにしましても、昨日もお話があったんですけど、やはり民間の会社であれば、四半期ごと、少なくとも行政であれば、この状況であれば、半年に1回は進捗状況を。民間とはちょっと違うのは、年度末にしか分からないこともありますが、費用対効果であるとか、それから無駄なところはいいのか、今、市の職員から改善案については、総務課に上司を通さずに、どんどん出てくるようにしております。何よりも皆さんの方がはるかに現場現場で知恵がある。是非お力を頂ければ、本当にまたスピードアップして、杵築が財政再生団体は免れるというのは、自信を持ってますけども、それ以上にこれから人口が100年で、100年前が5,000万人だったのが、これから100年後は、また5,000万人に戻るということで、非常な急カーブで落ちてきます。これはもう、人口統計の専門家がやってるわけですから、だから収入や働く人が少子化で少なくなって、税収が落ちていくということは、全国の市町村が共通の悩みでございます。そのためにも、先ほどお話がありま

したように、どういうふうにして暮らしが良くなるのかは、やはり企業誘致とか、私も早速年内にも行きますけど、今、撤退するという大きな会社もありますので、それについてずっと協議をしております。まず、企業が退出をされるということであれば、必ずそのあとに、間髪をおかず、そういう雇用が生まれるように、そして杵築の人で195人ぐらい、500人のうちの195人がおりますので、そういう人たちの生活もかかっておりますので、全力で頑張っていくます。是非ご協力を賜ればと思います。

【質問者13】

先ほどから、こういう財政になったということで、反省とかいう声を聞くんですけども、結果的にこうなった一番大きな原因というのは、やはり住民が少なくなり、今市長がおっしゃったように企業が撤退してしまい、市税が減ったということが一番の原因だと思うんですよ。ですから、ここに対策で書いてあるように人件費削減する、投資的を削減するとか、マイナスのことばかりを緊急の財源対策ということでやって、目先の1年2年は、ひよっとしたらよくなるかも分からないですけども、一番の原因というのはやはり先ほどおっしゃったように、大きな会社が来てくれたら、税収も増えるし、人も増えるし、とてもプラスの方になっていくんですけど、対策の趣旨が見直して人件費を削るとかね、マイナスマイナスじゃなしに、市民税をいかに増やすっていうことの方が絶対大切だと思うんですよ。そのためには、先ほどおっしゃったようなふるさと納税一つにとってもね、杵築市を宣伝することによって、やはりふるさと納税っていうのは、全国の方から入ってくるお金じゃないですか。そういうのもっと、杵築市をアピールして、ふるさと納税を増やすとか、新しい事業を杵築で起こして、杵築の町が全国で知られて、杵築に住んでもいいなと思う方がおればね、それだけ人口も増えて市税も増えて、プラスの方へ行くんですけど、何か対策というのは、いろんなマイナスマイナスで補っていかうという考えでは、それこそ1年2年は持つかもしれないけど、また、同じようになってしまうと思いますよ。先ほどおっしゃったように高齢化になって人が減っていくし、その分市税は絶対減っていくんですからね。マイナスになるのは目に見えているんですよ。ですから、プラスになるようなことを考えてね、杵築市としてやっていかないと、絶対にまた同じようになると思いますよ。だから今言ってるように杵築市を全国的にアピールして、ホームページにしてもそうですよ。これも私のあれなんですけど、7年前にマレーシアの方に行っていて、その時に知り合った方なんですけど、その方は10年近くマレーシアに生まれ、私は向こうに行ってから5年間ほど知り合ったんですけど、先に日本に帰るということになったんですよ。その時に話した話が福岡にもともと住んでいら

して、マレーシアで10年間住まれて、日本に帰るとおっしゃったんですよ。どこに帰るんですかって聞いたんですけど、奥様がインターネットをやっておられて、インターネットのホームページで日本で一番住みやすい町が杵築市って出たらしいですよ。それで、こちらへ帰ってこられたんですよ。ですから、ホームページで杵築市っていうのが出たんで、こっちへ帰られて、私も本当に偶然でね、私はたまたま家内が杵築市で、私は大阪生まれの大阪育ちで7年程前に両親の介護の関係で、こっちに帰ってきたんですけどね、私も40何年、結婚してからも杵築に夏には帰っていましたし、本当に私のふるさとくらいに思っていますので。ぜひとも今おっしゃてますようにマイナスマイナスじゃなしに、杵築市をもっとアピールして、言ってるふるさと納税もそうですし、杵築市をもっとアピールして本当に住みよい町ですよということでアピールする方の対策をやっていただきたいんですよ。それの方が絶対に今緊急的にこの事業を止めるこれを止める、マイナスが出るから財政は良くなりますって言うのは、後ろ向きなことだと思うんですよ。前向いて前向いて杵築市をアピールして、他所からでも杵築市に住もうかという方が増えてくるような対策を市としてやっていただいた方が、絶対収入も増えて人も増えて、若い人も増えてくるということにもなってくると思うんでね、その辺の対策をやっていただくほうが私は絶対によくなると思いますんで、お願いします。

【市長】

ありがとうございます。今、杵築市の話ですけど、他の市町村、全国で困っているのは財政難ということで、杵築もこういう形で、皆さん方にこういう会を開かないといけないということですけども、全国の先進地はどうしてるかという、行政の人間だけが増えていくということはありませんので、少子化で、そもそも人口が減少していくのだから公務員の数も減らしていく、そして働き手も減っていくのだから、公務員は当然減らすでしょってということで、減らしても高齢の方であるとか、ハンディキャップを持ってる方とか、自分が困っていることが気が付かない人達が、たくさん格差が出てくると、そこに公務員数は増やせない、もっと減らさないといけない、じゃどうするのってということで、こないだクローアップ現代という番組で見たら、地域の住民の方々と行政がセットになっていろんな活動をする。NPOであるとか、今、杵築は住民自治協議会を作りこんでいますけども、そこに例えばいろんな調査をしてもらうと、民間の会社に委託していたようなことを、地域の団体、住民自治協議会とか法人格を持つ地縁でもいいんですけども、そういったところで、お金が、杵築市の市民が集めた金を杵築市のNPO法人や住民自治協議会の、例えば何かの検査をしてもらうとか、そういうことも、今スマホがあってアプリをいれ

れば、いろんなことが出来るようになったということ、それを挑戦しようということが出てきてます。要は限られた財源を市民の皆さん方で使うという、これしかないというのが先進地の事例です。そういう意味で、住民自治協議会の中、そしてそれを福祉部会の中であるとか、防災部会であるとか、おじいちゃんおばあちゃんは自分が食べれないほどたくさん畑に出て、仕事をしてます。それは何十年もやってるんで、とてもおいしいものが出るけど、土に返している。それは、持ち寄って、住民自治協議会の中で、タダで持ってくれば、皆でご飯が食べられるなあ、1食は、タダでご飯が食べられる。それからもつという、そういうものを買上げる。そして、それが給食の材料になる。というような形で、本当に限られた財源を市民の皆さんと分かち合うことによって困った人にそういう材料が行ったり、ワンコイン、一日作業をすれば500円になるとか、そういったことを作りこんでいこうというのが、私が市長になって一番最初から、住民自治協議会をやる、杵築ブランドということで立ち上げて、今、7億円から8億円のお金を生むようになりました。それともう一つ、杵築中学校で凄いお金がかかりました。でも、それは文化庁の方がよく分かって、お城の跡と御殿とお城が来月、年明けからですけども国の史跡、国の宝として、認定を頂く。それと北台と南台が重要伝統的建造物群ということで、平成29年の11月に認定を受けました。九州で武家屋敷とお城の跡がセットで国の宝として認定されるというのは、九州で杵築だけということになります。そういう意味で光を当てて観光客を呼び戻して宿泊施設を作って、どんどん来ていただく、そして欧米豪と5か国のSNSを発信する人が、九州の140の観光地の内、杵築は5位でした。人気が高いという。それはどういうことかと言うと、着物に着替えてただ写真を撮るんじゃなくて、坂が20もありますので、行き来するのにインスタ映えをするということで、非常に人気があります。もう一つ人気があるのが、誰も人がいない。ゆっくり見て回れる、いろんな発見があって、いろんな人とお話をして、やさしいと。そういう形で収入とか知名度をアップしていくということで頑張っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

【質問者14】

3つ言いたかったんですけど、ひとつはしよります。実はですね、大分県には県職員OBの市長さん、町長さんがたくさんおります。永松市長もそのうちの一人なんですけど、私の知り合いに〇〇の町長がおります。私は県職員がですね、首長である市長や町長になることに対しては、反対はしてるんですけども、私の知り合いの〇〇町長の話をしりたいと思います。〇〇町長と永松市長の共通点は一つだけ。元県職員だったんですね。違うところはたくさんあり

ます。まず、前職、永松市長は保健部の部長さんでした。部下が200名ほどおりましたか。〇〇町長は平の職員でした。全くの係長もしてなくてですね、なったもんでございます。それから選挙ですね、永松市長は平成25年市長になった。片や〇〇町長さんは、平成26年の選挙では現職と戦って僅差で敗れております。平成29年にまた永松市長は、また無投票で再選されました。平成30年に〇〇町長は現職と戦いまして、かなりの差で勝っております。何で勝ったのかと私は聞いたところですね、5年間でかなりの地区に出て行って、いろんな苦情とか、いろんなことを聞いて回った。それが実を結んで、恐らく町長に現職を破るということは大変なことなんですね。私は何を言いたかったかという市長さんは、昨日も言ったんですけど、クリーンなイメージを持った良い市長さんだと思っています。今でも思っています。だけど、地元をそんなに良く知ってるのかなと、〇〇町長に比べると地元を歩いてない。町長という職があればですね、地元に行くことはできます。だけど、全然ない人が地元に行くのは、非常に苦しかったと思います。そういったことをしながらですね、町長の座を射止めた。私はですね、今日初めてこういうふうな形で、市民と執行部の話が出来たと、私はこれをですね、4回でするんじゃなくて大字単位で年間に一回は行っていただきたいと思います。それとですね、いろいろ削減案の中で出てきたことについて、そこの実情を市長がどれだけ知っているか。温泉施設しかり山香の体育館しかり、私はですね、地元に行って、その方々と市長が直接話し、こういう理由でここは廃止しますということをしてですね、きちんと説明していただきたいと思います。それをしていただくかしていただかないか、大字単位で説明するか、それと削減するところについて説明しに行くか、イエス・ノーだけで結構です。それをお答えいただきたいと思います。あのですね、こういった危機的な状況になって改革するのは、至難の業です。民間と市町村というのは、地方自治体は違うんですけども、日産はかつてすごいことになっていました。それを回復したのは、いろいろありますけど、社長さんです。日航もかなり厳しかったと、それを回復したのは京セラの会長さん。私は先ほど申し上げました2点が出来ないのであれば、ここで責任を取って、真意を取って、辞めてですね、もう一度市長選をやって、市長が本当にやりたいのであれば、もう一回立候補していただく、そのくらいの気持ちを持っていただければと思っております。もう一点、最後の質問ですけど、図書館ですね、私はできた当時は非常にいい図書館ができたと思ってました。だけど、こういった財政難の時にですね、ああいった立派な図書館は、必要なかったんじゃないかと思っております。そこで、清末教育長は、大変質問しにくいんですけども、今、書店が無い市町というのが、大分県にあるのかどうか、教育長お聞きしたいんですけど。

【教育長】

3つほどあります。

【質問者 1 4】

私は、無いと思っていたんですけど。書店がないことに対して教育長として、どうお考えでしょうか。

【教育長】

ついこないだまでありまして。この前、議会でもありましたが、近々、出来てほしいなど。

【質問者 1 4】

出来てほしいということのを待っていたら、いつまでも出ません。私もですね、出資をしていいですから、是非とも教育長、個人的にですね有志を募って書店を開きませんか。本屋が無い市とかはない、それで文教行政をですねやるっていうことは、私はちょっと考えられない。私は教育長は市内書店で本を買ったと思うんですね。昔。今なにもない、皆さん国東に行くか、日出に行くか。そこまで行かないと本を買えないような、そういう状況をどう思いますか。

【教育長】

先ほど言いましたように、皆さん不便かなというふうに。

【質問者 1 4】

それくらいの感覚だったら、不便ですよ皆さん。是非とも有志を募って、書店を、もちろん赤字になりますよ。それくらいの気持ちを持っていただきたいと思います。

【市 長】

まず大字単位になるか、小学校単位になるか分かりませんが、今杵築二か所、大田一か所、山香一か所ですけども、やはり中学校単位、もしくは今の小学校単位で皆さん方とよくお話を聞く、それから特にご負担をかけるようなところは出かけて行って、私から説明をいたしたいという、そういう考えであります。

【質問者 1 4】

出来るだけですね、小学校単位ぐらいでやっていただきたいと思います。私

は昨日からですね、財政課長にはいろいろ言いましたけど、財政課長には頑張っていたかと思えます。どうかよろしくお願いします。

【副市長】

はい、ありがとうございます。もうひとつ、どなたか。

【質問者 15】

申し訳ないですが、切り口をちょっと変えたいと思います。杵築中学校は海拔何メートルですか。・・・はい、じゃ南海トラフは確率的に何パーセントですか。・・・はい、じゃ東日本大震災をご存知ですか。

【副市長】

はい、知っています。

【質問者 15】

だったら、なぜ教育をやっている市の行政の方々が海拔ゼロ、最初に大内の山の上に建てるという話じゃなかったんですか。杵築には危機管理室がありますよね。危機管理室があるのにもかかわらず、危機管理の規定があったはずで。8 m以上に建てるというのが、原則じゃありませんか。

奈多海岸にある記録は、随分前に8 mという津波の記録が残っているのがご存知ですか。

【副市長】

はい、知っています。

【質問者 15】

だったら何故、もし南海トラフが起こったときに、あの中学校が避難場所に使えるんですか。避難場所は、杵築小学校、宗近中学校、それから杵築高校くらいしか使用できませんよ。東日本大震災の川の遡上はどこまで行ったかご存知ですか。・・・約5キロ川を遡上してるんですね。今給食センターを建てるところは場所的に川の横ですか。

【副市長】

川の横です。

【質問者 15】

じゃ、消防署は川の堤防より、上ですか下ですか。

【副市長】

ちょっと下になりますね。

【質問者 15】

皆さん、ちょっと感覚的におかしくないですか。何故そんなところに給食センターや中学校や、海拔ゼロに作るんですか。中学校60何億円かかったとおっしゃってましたが、これ被災をしたときに津波に浸かったら、この中学校は使うんですか、使わないんですか。大川小学校の事例をご存知ですか。

【副市長】

はい。

【質問者 15】

大川小学校は使いましたか。今、使おうとしていますか。校舎を壊しましたか。どちらですか。

【副市長】

壊している。

【質問者 15】

壊してますよね。それを分かっている、最初に大内小学校の上に、ある議員が私のところに来て、学問の1丁目1番地は、あそこだからあそこに、おろしてきたんだと。実はここでは言えませんが、こういう状況があっておろしてきたんだと。その議員さんに言いましたよ。一人でも中学生が遺体であがったときは誰が責任をとるんですか。申し訳ない。こういう言い方をして。私は、この中学校が腹が立って仕方がない。誰が責任をとるんですか。釜石の奇跡というお話を知っていますか。大学の大学院の防災担当の先生が一生懸命一生懸命、命を守る授業をやって、そして中学生が中心になって、保育園の子どもや施設のお年寄りも一緒に連れて逃げたから、彼らはなんて言ったか、私たちは釜石の奇跡じゃありません。釜石の実績です。全く教訓が活かされていないんじゃないですか。行政の方々は、命を守る授業のことを考えたことがございますか。

【副市長】

当然です。市にも危機管理課を作っておりますし。

【質問者 1 5】

危機管理課の話が聞かれたんですか。8 m以上に建てなきゃいけないっていう話を聞かれましたか、市長さん。その提案があったんじゃないですか。申し訳ない。本当にこんな言い方をして申し訳ないけど、誰のために施設を作ってるんですか。60何億円。誰のためにこの事業をやったんですか。もっと私たちが見えない力が働いているんじゃないですか。違いますか。これを見直さないと杵築は絶対によくならないと思います。私たちは一生懸命、一生懸命に働いていると思うんですよ。私たち働いてますよ。一生懸命。いろんなこと言われながらも働いてるんです。だって、杵築市が大好きですから。何か市長さんが全然動けなくなるような、そういう力が働いていませんか。そこを明らかにしないと、この問題は解決が出来ないと思いますよ。まず最初に市長さんが、市長さんになる前に来た時の市長さんは、すばらしい市長さんだった。でもいつの間にか、動けなくなってるじゃないですか。発掘調査をやるのに、私共、自分の負担金で、法人の負担金で発掘調査をやりました。自分たちのお金で発掘調査をやったんです。第1回目予算は700いくらだったですよ。ところが2週間もしないうちに、倍になってこれだけかかりますよって、根拠も示さずに持ってくるのが杵築市の実態だったんです。中学校の発掘調査にどのくらいかかったんですか。

【副市長】

1億8,000万円くらい。

【質問者 1 5】

そうですね。1億8,000万円の予算がかかったわけですね。私、他の自治体に聞いてみました。約100分の1でした。ある議員団が訪ねてきました。中学校の予算は、どのくらいですかって言って、大規模校で20億円です。体育館から全部入れてですね。だから考えられませんって言われました。申し訳ないですね。こんな言い方をして失礼だと思いますが、もう一回、もう一回、闇の部分、私たちが見えない部分を明らかにすべきじゃありませんか。誰のために行政をやってるんですか。申し訳ない。

【副市長】

もちろん、市民の皆さんのためにです。

【質問者 15】

今ここにいる財政課長さんは、いつから財政課長さんになりましたか。

【副市長】

平成29年です。

【質問者 15】

平成29年ですね。じゃ中学校とか、全部決まっていたわけですよね。決まる前の財政課長さんは、誰ですか。中学校とか、当時の財政課長さんはどなたですか。

皆さん、全然責任とれるような人たちじゃないじゃないですか。それで頭を下げてるんです。もっと市民に分かる行政をやってください。皆が見える透明性のある行政をやってください。私は、この市長さんを期待してたんです。誰が動かさなくなっただけですか。動かさないようにしたんですか。ものすごく苦しいはずですよ。私に、こう市長さんがおっしゃいました。「火の中に手を入れたけど、栗がなかった。僕は変えたかった。」、そうですね、一方的に責める訳にはいきません。もう一度市民の手に行政を戻さなきゃ。そして議会ももう一回きちっと襟を正していただいて、やるべきじゃないでしょうか。申し訳ない。回答は要りません。

【副市長】

貴重なご提言、ご意見を頂きました。ありがとうございます。最後になりましたが市長からご挨拶を申し上げます。

【市長】

今日は、年末、公私とも大変お忙しい中、また金曜日ということで、皆さん方ご予定があったことと思います。それを押して説明会にお越しいただきまして、本当にありがとうございます。今日は、大変たくさんのお叱りも受けましたけど、ご提案も頂きました。反省するところが多々ございます。やはり職員が出かけていく、そして直接皆さん方とお話をする機会をたくさん持つ、そして、ただ仕事をするんじゃないで、仕事って何のためにしてるのってところの、一番原点をもう一回しっかり見直して、皆さん方にご不安ご心配を掛けないように、万全の態勢で取り組みます。財政再生団体に絶対にならないことをお誓い申し上げます。そして皆さん方が、また安心して杵築市ということ堂々と名乗れる市にもう一回、皆さん方の期待に応えるように頑張ります。本当に申し訳ありませんでした。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。